

平成30年11月放送総局長定例記者会見要旨

(1) 放送素材誤送信の再発防止について (木田放送総局長)

今月に入って1週間余りの間に、放送素材の誤送信が2件相次ぎました。関係者の方々にご迷惑やご心配をおかけするとともに、視聴者・国民の皆さまの信頼を著しく損ない、放送総局長として深くおわび申し上げます。いずれの誤送信も、NHKが定めたルールを逸脱したことによって引き起こされたもので、事実関係を厳正に調べたうえで、本日処分を公表いたしました。

今後、こうした誤送信を決して繰り返すことがないように、緊急の再発防止策を打ち出し、本部のみならず、地域局や関連団体、外部プロダクションに至るまで、周知徹底を図っています。さらに、人為的なミスを防ぐシステム面の改修や新しいシステムの導入についても、早急に検討を進めています。

また、佐賀放送局の前の局長が、職員の服務規定に反する不適切な行為で局長の職を解かれたほか、報道局のチーフ・プロデューサーが、迷惑防止条例違反の疑いで逮捕されました。公共放送に携わる者が、このような不祥事を引き起こすことはあってはならないことです。あらゆる機会を通じて、コンプライアンス意識の徹底を図るとともに、視聴者・国民の信頼を取り戻すべく、全力で再発防止に取り組んでいく所存です。誠に申し訳ございません。

(2) 開局間近! BS4K・BS8Kについて (木田放送総局長)

NHK BS4K・BS8Kの開局まで、あと10日となった。万全の体制で開始できるよう、着々と準備を進めている。

12月1日の開局特番では、NASAがISS・国際宇宙ステーションから8Kで撮影した地球を放送することが新たに決まった。番組では、地球にハリケーンが発生している様子を鮮明に映した映像などを紹介する予定だ。ISSからは、これからもさらに映像が届く予定で、今後の番組化も検討している。

開局から年末年始にかけても、お楽しみいただける番組をそろえた。BS4Kでは、新たな宮沢賢治像を浮き彫りにするドキュメンタリー番組「映像詩 宮沢賢治 銀河への旅」や、風景画の傑作・東海道五十三次を高画質で見ることで新たにわかった江戸時代の暮らしを紹介する「浮世絵EDO-LIFE 特別版 東海道五十三次」を放送する。また1968年にアメリカで放送され大ヒットした刑事ドラマ「刑事コロンボ」を年末年始にかけて一挙8本放送する。

BS8Kについては、開局日に「世界三大オーケストラの響き」を放送。22.2マルチチャンネルの立体音響でウィーンフィルによるベートーベンの「第9」をお送りする。また9日には、マジックアワーとよばれる日没直後の時間に現れる空の不思議な色に魅了された画家・ゴッホの晩年の足跡をたどる「マジックアワー ゴッホが描いた空の光」、16日には、世界遺産にも登録されているベルギーの古都ブルージュのカリヨン（組み鐘）を特集した「カリヨン 時を超えるブルージュの鐘」を放送する。

紅白歌合戦も4K・8Kで生放送する。総合テレビでの放送とは別のカメラで、NHKホールの雰囲気満喫していただけるような、4K・8Kならではの紅白をお届けする。

1月以降も魅力的なコンテンツを準備している。8Kでは、1月1日から3本シリーズで「ツタンカーメンの秘宝」をお送りするほか、1月13日から始まる大相撲初場所を中継する。

なお、12月1日、2日は全国の放送局やさまざまな施設でBS4K、BS8Kの受信公開を予定している。開催場所や時間などの詳細はNHKのホームページをご覧ください。

(詳細は報道資料を参照)

(3) 大河ドラマ「いだてん」関連番組について (菅副総局長)

来年1月から始まる大河ドラマ「いだてん」について、関連番組を紹介する。

1月2日に放送する「カウントダウン！大河ドラマ『いだてん』いよいよ開幕！」は、舞台が20世紀、語り手は落語家。これまでのイメージとは異なる大河ドラマの“公式ガイド番組”。番組では、昭和の大名人「古今亭志ん生」役でドラマをナビゲートするビートたけしさんの落語シーンのメイキング映像や、ストックホルムオリンピックの現地・スウェーデンで行ったロケの舞台裏を紹介する。

1月3日には「あなたが主演50ボイス」の「いだてん～東京オリンピック囁（ばなし）～ボイス」を放送する。50人の生の声を通して日本人の本音や夢・希望に迫るおなじみの番組が「いだてん」の舞台裏に密着する。キャストはもちろん、作者、時代考証、制作スタッフなど「いだてん」にかかわる様々な50人に徹底インタビューし、ロケの様子はもちろん、こぼれ話、熱い本音トークをふんだんに盛り込んでお伝えする。

1月4日には「“いだてん”が駆け抜けた時代」を放送する。ドラマの主人公、金栗四三と田畑政治の2人がどんな人物なのかを、様々な角度から楽しく、深く、そして正月らしく華やかに迫る。オリンピックにマラソンで初めて出場した金栗が履いたオリジナルシューズはどのように生まれたのか？田畑が東京へオリンピックを誘致するために考えた秘策とは？など、さまざまなエピソードを紹介する。スタジオには多彩なゲストを迎え、「いだてん」が駆け抜けた時代を掘り下げていく。

(詳細は報道資料を参照)

(4) 年末年始の特集番組について (菅副総局長)

総合テレビでは、「チョコちゃんに叱られる」を72分の拡大版で12月21日に放送するなど、おなじみの番組を年末スペシャルバージョンでお送りする。また、天皇皇后両陛下の足跡を振り返る4回のシリーズ「私たちと天皇皇后両陛下」のうち、年末には、天皇陛下のご誕生から日本中を熱狂させたご結婚、皇太子・皇太子妃としての活動までを、12月23日と24日の2回にわたって放送する。

Eテレでは、年の瀬の風物詩となっているベートーベンの「第9」について、なぜ日本人は12月に「第9」を歌いたがるのか？など、知っていそうで知らないエピソードを9つの物語にして紹介する「第9ナインストーリーズ」を12月31日、NHK交響楽団の「第9」演奏会の放送直前にお送りする。

BS1では、外国人が驚いた日本文化を撮影した動画を紹介し、日本在住の外国人50人がスタジオで熱い議論を戦わせるニッポン再発見番組「COOL JAPAN 新春スペシャル」を元日の夜に放送する。BSプレミアムでは、この12月に完成して60年になる、東京タワーに寄せるさまざまな人たちの思いを描く「見上げればあなたはいつもそこに～祝還暦・拝啓 東京タワー様～」など、バラエティに富んだ番組を放送する。

最後に、ラジオ第1では、子どもたちの鋭い質問に先生たちが答える「冬休み子ども科学電話相談」を、去年に続いて放送する。

(詳細は報道資料を参照)

(5) NHKスペシャル シリーズ「東京リボーン」 (荒木副総局長)

2020年に向けて東京の大改造が進められている。今、求められているのは、災害に強く、環境に配慮した、街を再生させる「持続可能な都市」を目指した開発だ。

12月から始まるNHKスペシャルの大型シリーズ「東京リボーン」では、その東京の再生と進化を体現する開発現場を6回シリーズで描く。

第1回目となる12月23日の放送では、15のオリンピック施設が集中する「ベイエリア」を取り上げる。このうち水泳会場となる「アクアティクスセンター」では、天井に太陽光発電や太陽熱利用の設備を置くなど、環境に配慮した自然エネルギーの導入を進めている。重さおよそ7000トンの巨大天井をワイヤーで一気に持ち上げて寸分の狂いなく柱に設置するため、最高峰の技術で挑む開発現場を、人間ドラマを織り交ぜながらお伝えする。

(詳細は報道資料を参照)

(6) Eテレ60特番 「Eうた♪ココロの大冒険」 (菅副総局長)

Eテレでは、1月1日にEテレ60特番「Eうた♪ココロの大冒険」を放送する。

2019年に放送開始60年を迎えるのを機に、なつかしのEテレソングを日本の音楽シーンを代表するPerfume、木村カエラ、Mrs. GREEN APPLEなど豪華アーティスト達がカバーする。番組は、寺田心さんが演じる歌の苦手な小学生が、異世界を冒険しながら、失われた「うた」を取り戻すファンタジードラマを軸に進行。随所に、歌はもちろん、Eテレ60年の歴史に名を残す名物番組の「出演者」「キャラクター」「演出」が登場し、彩りを添える。今の子どもたちと、かつてEテレを見て育った大人たちに贈る音楽特番だ。

(詳細は報道資料を参照)

(7) NHKスペシャル BS1スペシャル「ラストプレー 衝撃の14秒」 (荒木副総局長)

年末、NHKスペシャルとBS1スペシャルでは、ロシア・ロストフアリーナで行われた、ワールドカップ決勝トーナメント1回戦、「日本VSベルギー」戦を振り返る。

多くの人の記憶に鮮烈に残った、ベルギーの超高速カウンター。後半アディショナルタイムに生まれた14秒のプレーは、日本のベスト8進出の夢を打ち砕くとともに、大会ベストゴールのひとつとして世界から絶賛された。番組では、日本、ベルギー双方の選手や、かつての日本代表監督などのキーマンを世界各地に訪ね、この14秒のプレーがどう生まれたのか、答えを探した。浮かび上がってきたのは、一瞬のうちに交錯した判断と世界最高峰の技術、そしてこの瞬間に至るまでの巧妙な罠(わな)と意外な伏線。放送は、NHKスペシャルが12月22日、BS1スペシャルはさらに映像を加えた完全版として12月30日に放送する。運命を分けた14秒のドラマを軸に、スポーツ史に刻まれたあの瞬間の知られざる物語をお伝えする。

(詳細は報道資料を参照)